

平成18年度 第1回マナーに関するアンケート結果と考察

6 / 28 ~ 7 / 3 実施

調査人数 在籍数(調査人数)

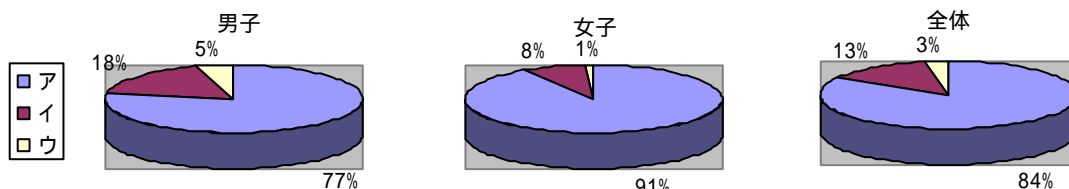
1年	男子109(107)名	女子 88(86)名	計197(193)名
2年	男子 82(77)名	女子107(103)名	計189(180)名
3年	男子 95(93)名	女子 91(86)名	計186(179)名
全校	男子284(277)名	女子286(275)名	計572(552)名

1 あいさつについて

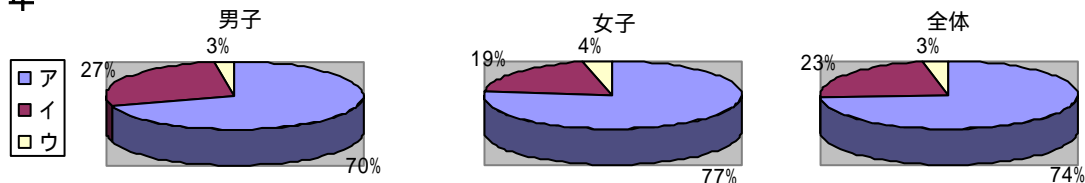
先生や来校者，友達や先輩・後輩に対して

ア 進んであいさつができる イ 相手がしてくれたらあいさつをする ウ ほとんどあいさつをしない

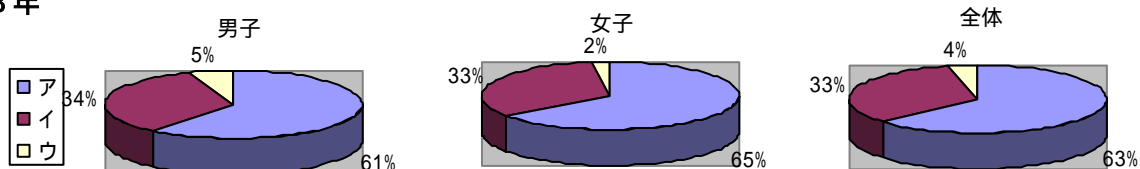
1年



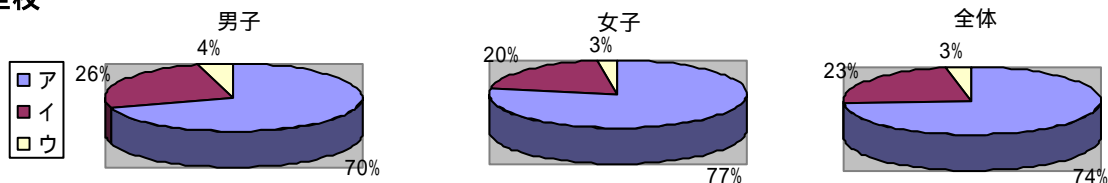
2年



3年



全校



【考察】

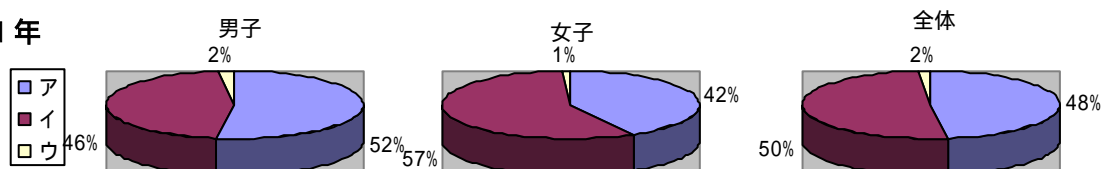
「進んであいさつができる」は前回調査と比べると，全校では+8ポイントと改善傾向にある。2年生は-3ポイント，3年生は+4ポイントで2年生に中だるみ傾向が見られる。木太中は挨拶のいい学校である，という自覚を高め「あいさつ日本一」をキャッチフレーズにし，生徒会とともに工夫しながら取り組む必要がある。

2 言葉づかいについて

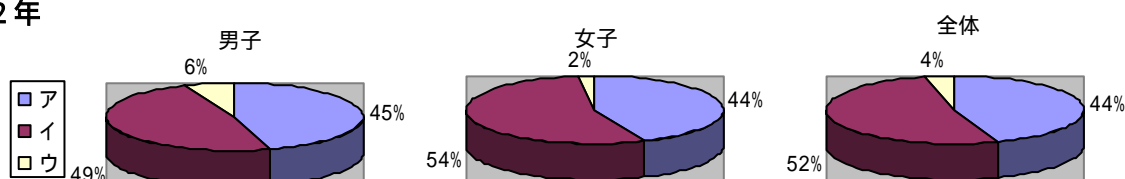
先生や先輩・後輩にたいしてその場に合った適切な言葉づかいが

ア きちんと使い分けができる イ 少しは使い分けができる ウ ほとんどできない

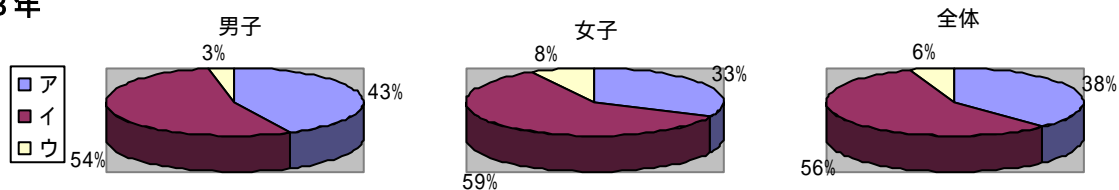
1年



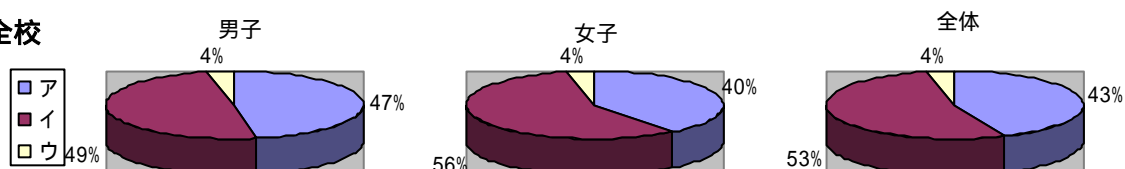
2年



3年



全校



【考察】

「きちんとして使い分けができる」は全校で 43%と高くはないが、過去の調査の中では一番高い数値が出ている。「ほとんどできない」が、3年女子 8%、2年男子 6%と高いが目立っている。全校でみると女子が少しではあるが「きちんとして使い分けができる」割合が毎年男子より低い。TV等の影響から、やはり言葉を日常的に使っていることなどが起因しているのではないかと感じる。

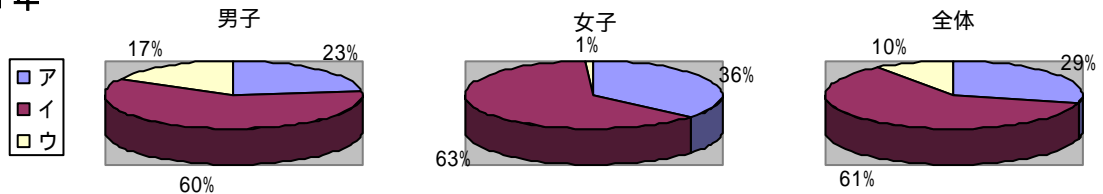
「改まった場面」「日常的な場面」をきちんとして分け、教師自ら範を示し、根気強く指導する必要がある。

3 私語について

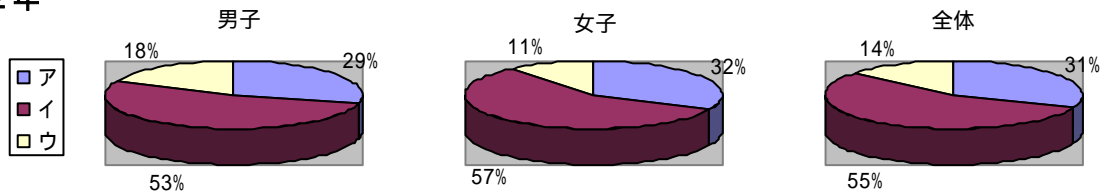
集会・授業中で話をしてはいけないときにお喋りを

ア ほとんどしない イ 時々する ウ よくする

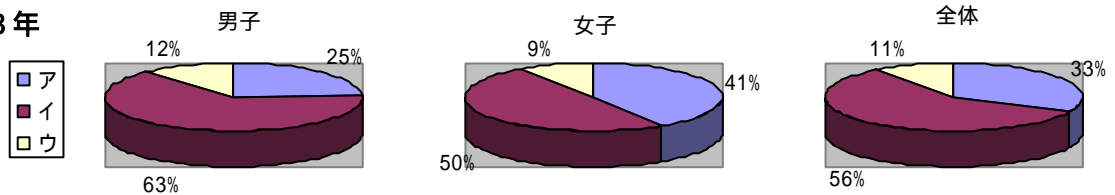
1年



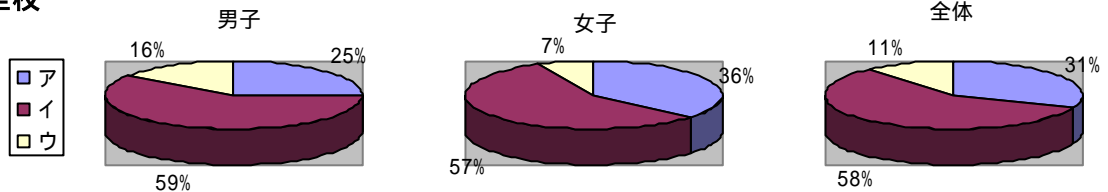
2年



3年



全校



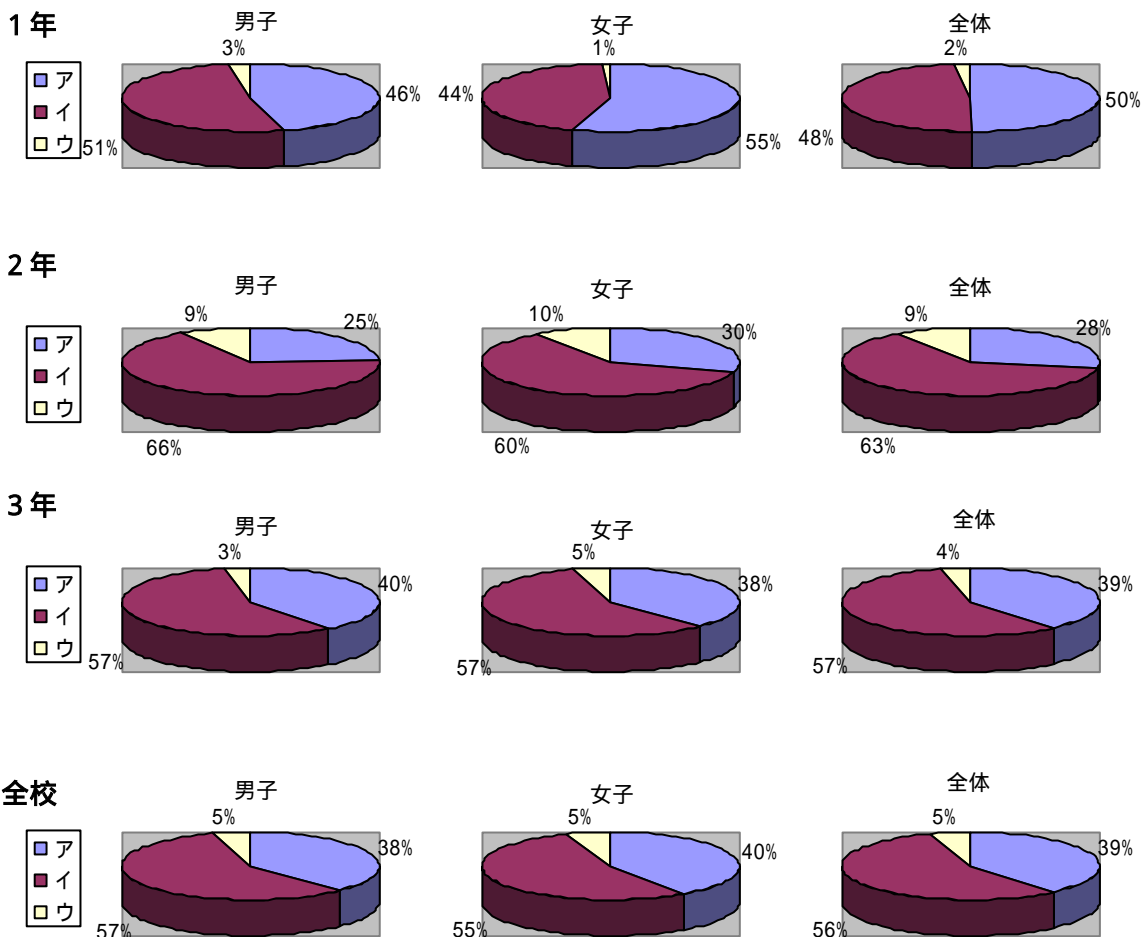
【考察】

全校では前回調査と比べて、「ほとんどしない」が+2ポイント、「時々する」が+7ポイント、「よくする」が-9ポイントで、生徒の意識としては私語は少なくなり、改善傾向にある。

平成17年前期の考察で「ほとんどしない」を、次回は30%以上を目標にしていたが、今回一応クリアできている。授業中の私語などは、学期が進むに連れ増加傾向にあるので、今後も十分留意して指導して行きたい。それとともに、生徒が興味・関心を示し、よく分かる授業改善を各教師が心がけるようにしたい。

4 清掃について

ア きれいにするためによくする イ いちおう時間内は適当にする ウ さぼったり遊んだりしてほとんどしない



【考察】

全校で見ると、前回調査より「きれいにするためによくする」が+1ポイント、「一応時間内は適当にする」が+2ポイント向上し、「さぼったり遊んだりしてほとんどしない」は-3ポイントとよい傾向にある。しかし、2年生は1年次から「さぼったり遊んだりしてほとんどしない」が10%と多く、1%減少したものの清掃に対する意識が低い。

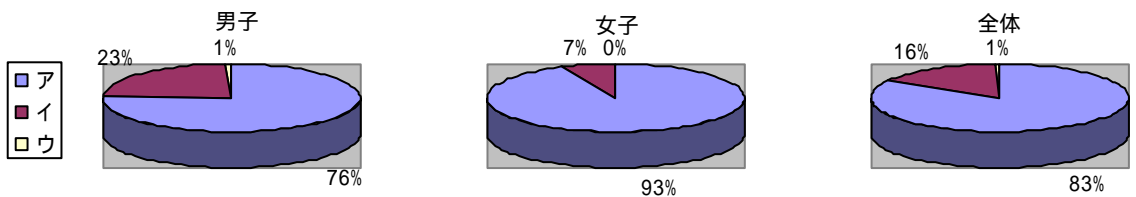
最近の生徒たちは、家庭でも清掃などのお手伝いをする生徒が少なく、ほうきや雑巾を使っただけの掃除にも慣れていないのでより細かな指導が必要と考える。また、委員会活動、学年団での取り組みも必要である。

5 身だしなみについて

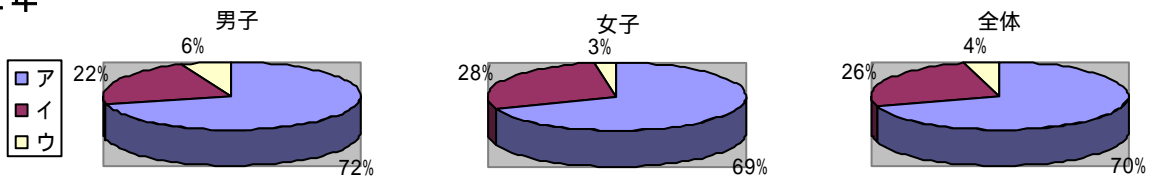
ネーム・校章・学年章は付けられているか。靴のかかとを踏みつけていないか。男子は、シャツをズボンの中に入れていないか。女子で長い髪はくくっているか、また、スカートの長さは標準であるか。

ア ほとんどできている イ 時々忘れたり注意を受けたりするがだいたいできている ウ ほとんどできていなく、よく注意を受ける

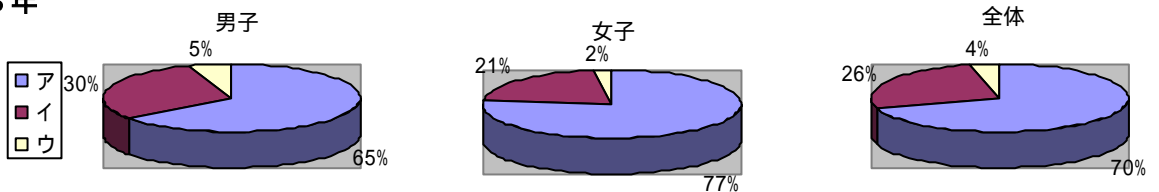
1年



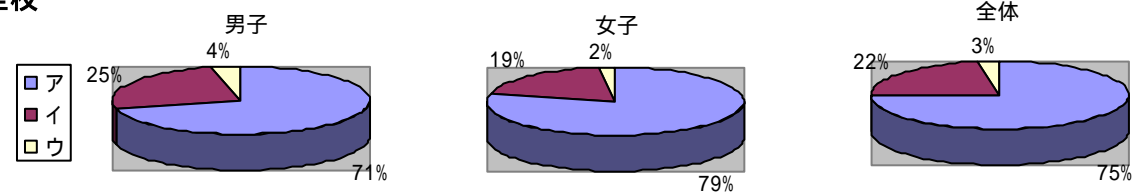
2年



3年



全校



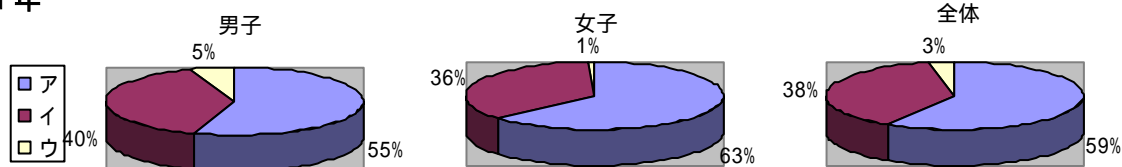
【考察】

全校では「ほとんどできている」が前回調査と同じであるが、平成16年度調査より+11ポイント上がりよい傾向になっている。

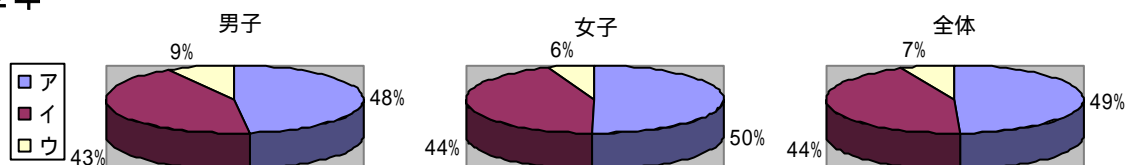
学年で見ると1年生が最もよく「ほとんどできている」が83%、女子においては93%と高値である。2年生は「ほとんどできている」が1年次76%から70%と-6ポイント下がり、中だるみ傾向が現れている。3年生は「ほとんどできている」が2年次67パーセントから70%で+3ポイント改善し、最上級生としての自覚が、少し出てきたように思われる。

マナー5項目についてア・イ・ウの割合

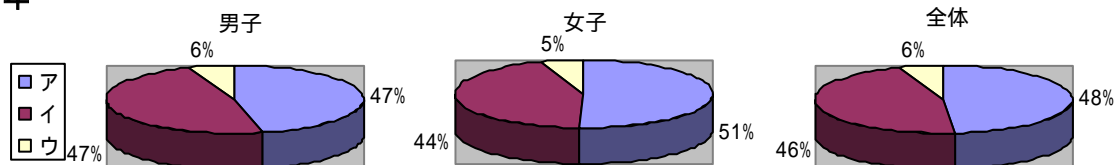
1年



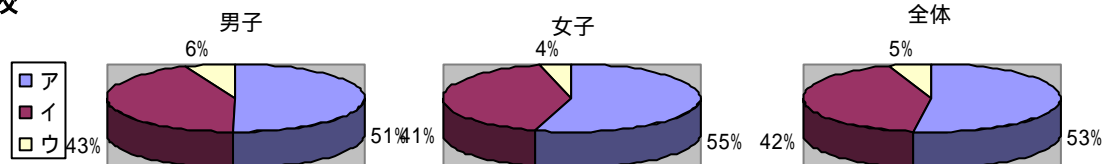
2年



3年



全校



【全体考察】

全校のア群(よい)を過去と比較すると、H15 第1回 43%、第2回 43%、H16 第1回 48%、第2回 48%、H17 第1回 47%、第2回 49%で、今回は53%と初めて50%をクリアできた。昨年度から50%を目標としてきており、一応その目標は達成できた。

しかし、実際の生徒の清掃状況や、身だしなみで、靴のかかと踏みや男子のシャツ出し、女子の長い髪をくくるなどはできていない生徒が多い。生徒の意識のアンケートなので、自らを厳しく評価する生徒と、自分に対する評価が甘い生徒では大きく結果が違ってくる。

木太中の良さでもある「あいさつ」については日本一を目指すことをキャッチフレーズとし、あいさつを中心にマナーの向上を図っていきたい。また、日本一を目指す意識が途切れないことが大切なので、生徒会中心で毎月曜日朝に門で挨拶をしているようなことを今後も生徒会から知恵をもらい生徒とともに考えていきたい。